



2023年12月10日
第76号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

12月10日号

2023年も残り一ヶ月を切ったが、12月8日と聞いて何か思い浮かぶだろうか？8月15日と言えば知っている人も多いと思うが、12月8日は1941年午前3時19分日本軍がハワイ・オアフ島真珠湾のアメリカ軍基地に奇襲攻撃をし、第二次世界大戦に突入した日である。第二次世界大戦では1945年の沖縄戦や広島・長崎の原子爆弾、ナチス・ドイツによるユダヤ人大虐殺（ホロコースト）など7,000万〜8,500万人の犠牲者を出した。私たち日本人はこの戦争の過ちを二度と繰り返さないと言いつつ、憲法9条のもと戦後79年国際紛争（戦争）への道を放棄し平和な社会を築いてきた。

しかし、現在の世の中を見てロシアによるウクライナへの侵攻・イスラエルとガザ地区・ハマスとの戦闘状態で労働者や女性・子どもが多数犠牲になっている。どんな理由があろうが、人間同士が殺しあって良いはずがない。どちらが良い・悪いではないはずだ。しかし、日本政府は「防衛装備移転三原則」の運用方針を改正してまで防弾チョッキや防護マスク・防護服など自衛隊の装備品をウクライナへ提供、一方でロシアには制裁措置とウクライナへ肩入れしている。

岸田政権は昨年12月に「安保関連3文書」を閣議決定し、「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」との名称で明記、防衛費を5年間で1.5倍以上となる43兆円とすることを盛り込んだ。また憲法改悪にも前のめりになっている。軍事大国とはならないとした防衛政策が大きく転換した。北朝鮮のミサイルや台湾有事を理由にいつか来た道に戻ろうとしている。私たちが政治に無関心でいればいつの間にか戦争の道へと引きずり込まれ、犠牲になるのは労働者や女性・子どもたち社会的弱者であり、儲かるのは軍需産業や資本家だけである。

一部の富のために私たちは血を流すような事はあってはならない。そのことが第二次世界大戦を経験して過ちを二度と侵さないための憲法9条であるはずだ。「テロにも戦争にも反対」2023年も戦争の年になってしまったが2024年は争いのない平和な世界を築くため、一人一人が行動し声を出していこう！（K・S）

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという思いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。